



ひろせっ子だより

令和6年度 豊岡南小学校学校だより 第9号

令和6年 12月 20日発行

充実した2学期になりました。ありがとうございました。



例年に比べ、暖かいといわれてきた今年の冬も、急に寒い日が多くなってきました。そのような中であっても、子供たちは元気に学校生活を送っています。

子供たちは、2学期の各種行事や学習活動に意欲的に取り組み、多くの場面で持てる力を精一杯発揮して、大きく成長しました。また、学校・家庭・地域の連携がいつそう深まり、子供たちへのよりよい教育活動が推進されています。皆様方の御支援と御協力に、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

季節性インフルエンザ・マイコプラズマ肺炎等の感染が懸念されています。冬休みの間も「感染防止」を念頭に、「うつらない」「うつさない」よう御家庭でも御留意され、よいお年を迎えられることを願っています。



～ 終業式 校長の話 ～

おはようございます。今日で76日間の2学期が終わりになります。2学期もひろせっ子の頑張る姿、素敵な姿がたくさん見られました。3つの花で一緒にふりかえってみたいと思います。「学校評価」と言って、よりよい豊岡南小にするために、タブレットやクロームブックで皆さんがアンケートに答えた結果を点数にして紹介したいと思います。

まずは、「えがおの花」です。進んで挨拶ができたという人、ふわふわ言葉を使うことができたという人の数を割合にして点数をつけると91点でした。皆さんが、挨拶とふわふわ言葉を意識して生活していたことがよく分かります。**1学期に比べ、学校が明るくなったな、優しい雰囲気にも包まれているなと感じます。**豊岡学府で行ったオンラインの挨拶運動でも、ひろせっ子委員の人を中心に盛り上げてくれました。

えがおの花に関しては、「ありがとう」や「だいじょうぶ」「がんばって」など相手を思いやった「ふわふわ言葉」も自然に出てくるようになりましたね。**みんなの優しい言葉掛けのおかげで友達とのかかわりも温かくなり、学校中に笑顔が増えました。**

校内をまわるとこんな掲示物が目に入りました。

「自分が発表するとき、がんばってと言われて力が出たよ。」

「跳び箱で高い段を跳べたとき、すごいねと言ってくれてもっとやる気が出たよ。」

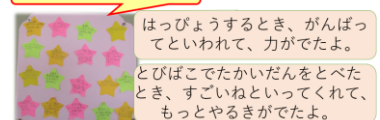
「お弁当を食べるとき、一緒に食べようと言ってくれてすごく嬉しかったし、ほっとした。」

「ある行事に出ることになったときに『俺の分まで頑張ってるね』と言われてうれしかった。」と書かれていました。友達を思う優しさがあふれていて、どれもすてきな言葉かけです。

また、下校の際にランドセルを背負った4年生の男の子が私にこんな声を掛けてくれまし

えがおの花 91点

こうないの けいじぶつより



た。「校長先生、ぼくね、毎日、帰る時、コスモスに咲いてくれてありがとうって言うんだ。伸びてくれてありがとうって気持ちを含めて言うんだ。」って教えてくれました。2学期の始業式で私が話した『かける言葉によって植物の生長具合が違う』ということを知っていて、実践してくれていることを知り、うれしく思うとともに、その優しさに私まで心が温かくなりました。

2つ目は、「鍛える花」です。こちらは、85点でした。体力テストや長縄・短縄跳び、昼休みの外遊びなど、元気に体を動かしていましたね。

12月は、**苦しい持久走にも目標をもって取り組む姿に見て**鳥肌が立ちました。限界まで全力で挑戦する姿は見事でした。よく頑張りましたね。12月に皆さんにアンケートを取っていたら、間違いなく85点より高い得点になっていたと確信するほど、皆さんの体と心が、持久走練習でぐんと鍛えられたと感じます。

きたえる花 85点



3つ目は、「考える花」です。授業の内容がよく分かったと答えた人や進んで調べたり質問したりできたという人は多かったのですが、**「自分の意見や考えを進んで伝えることができた」という人は、意外と少なく、あともうひとつがんばりといったところです。**「考える花」の点数は、74点でした。

多分、自分の考えを伝えられないと答えた人は、(違っていたら恥ずかしいな)とか(みんな聞いてくれるかな?)とと思っているのだと思います。

教室は、まちがえるところです。失敗はOK、大歓迎です。

失敗したことで、次に同じようなことがあった時、自分の力で乗り越えられる強さやしなやかさが育ちます。失敗を恐れず「自分から一歩」を踏み出してください。

かんが 考える花 74点

教室(きょうしつ)は、まちがえるところ

しつぱいはOK、だいかんげい

じぶんから いっしょに 自分から一歩



それと同時に、周りの友達の反応に不安になる人もいるということをおみなさんも心に留め、人の話は、優しい気持ちで聞きましょう。周りの反応が温かければ、自信のない人も自分の考えを伝えてみようかな?と一歩を踏み出すチャンスになります。友達の考えは、自分にはない考えを気付かせてくれる宝物です。優しい気持ちで心を傾けて大事に聞きましょう。

最後に、アンケートには直接出てこなかったことですがみんなに100点をあげたいことがあります。それは、2学期からスタートした「たてわり遊び」です。**学年を超えて仲良く遊ぶ姿が見られ、どのグループも笑顔の花がたくさん咲きましたね。**

人とかかわる姿がとっても楽しそうで見ているだけで心が和みました。これは、6年生のリードのおかげです。6年生の皆さん、本当にありがとう。



さて、明日から17日間の「冬休み」です。

年末年始は家族で過ごす時間や、普段あまり会うことのない親戚の人たちと過ごす時間が

多くなることと思います。大切な人との思い出がたくさんできると良いですね。

たった一つしかない「命」は、くれぐれも大切にしてください。「3つのなし～事故なし、ケガなし、病気なし～」で過ごしてください。1月7日の始業式には、元気な姿でまた会いましょう。



<コミュニティ・スクール コーディネーター 青木由美子さんから>

日頃より、学校応援団への御理解と御協力をありがとうございます。

2学期後半に行われた『STUDY サポート』『おもえほ』『もくもくそうじ』『地域環境整備』などの活動に協力して下さった皆様方、本当にありがとうございました。

いつも参加されている方、初めて参加して下さった方、それぞれ子供たちの様子を目の前にしていかがだったでしょうか。また学校生活に携わってみて、何か感じたことはなかったでしょうか。



私がかつて、ボランティアとして活動へ参加したとき、様々な思いがわき上がりました。活動の中で、我が子が友達とかかわり合う中で見える我が子の姿。先生方とかかわることで見える我が子の姿など…。家庭内だけでは我が子の一面しか見えていないことに気づきました。だからこそ、家庭外での様子から感じたことは、大きな発見・喜びなど、その『感じる心』は自分の子育てについて内に向ききかけとなりました。

家庭で子供との会話が増えたことで、学校は『大切な我が子がいる箱』のようなもので、その箱を繕ったり、丈夫にしたりするのは先生方だけでなく、保護者や地域でもできるのではないかと思うようになりました。



今となっては、その箱から巣立っていく時は意外と短かったかと、懐かしく感じるこの頃です。せめてその短い時間を子供と一緒に親も楽しみたい…南小の学校応援団は、そんな時間を共に過ごせる活動となっています。

いつも参加して下さる方も、これから参加してみようと思う方も、周りから見える我が子、我が子から見える自分を感じてみてはいかがですか。ひとりひとりが『ひろせっ子サポーター』です。3学期も御協力をよろしくお願いします。

学校閉庁日について

12月28日（土）から1月5日（日）までの9日間は、職員が不在となります。

万が一、上記の期間中に大きなけがや事故等で、学校への連絡が必要な場合は、1月6日（月）以降にお知らせください。

また、冬休み中の電話対応は、8時から16時30分までとなっています。

御理解と御協力をよろしくお願いします。